

# 社会教育指導員の部屋

2023.8月

人権同和課 社会教育指導員 吉澤 隆

## 8月9日 望月解放子ども会の野外学習

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な活動が制限されてきた期間が長かったのですが、今年の5月8日から感染症の位置づけがインフルエンザと同じ「5類」に下がったことにより、ようやく望月解放子ども会でも従来どおりの活動が実施できるようになりました。

望月解放子ども会には、望月小学校と望月中学校の児童・生徒が誰でも参加できます。この子ども会は「差別に負けない。あらゆる差別を無くし、人権を尊重し、部落を完全解放する」ことを目指して、参加者全員が仲良く元気に活動しています。

日頃は室内で人権同和学习、仲間づくりのためのふれあい学習、基礎学力向上を目指す学習活動を行い、あわせて、生活態度を高める実践学習を小中学校の先生や地域のサポーターと共に進めています。

そのほかに、地域の皆さんとの交流会や「もちづき&子ども人権フェスティバル」、「いのちの駅伝」などの事業を実施します。野外学習も、自分の視野を広げることを目的に行っている子ども会の大切な活動のひとつです。小学生14人と大人12人が参加した今年の野外学習は、佐久市内の2箇所の宇宙関連施設を見学しました。

### 【見学】 臼田宇宙空間観測所

望月支所から車で約1時間、臼田の上小田切集落から9km山間に車を進めると、大きなパラボラアンテナが見えてきます。これがJAXAの施設「臼田宇宙空間観測所」です。この観測所で小惑星探査機「はやぶさ」の微弱電波をとらえたことが地球帰還につながったニュースを覚えている方も多いことでしょう。ここでは、制御室、パラボラアンテナ、展示室を見学し、解説を聞きました。

市街地の影響を受けにくい山の中であることと、晴天率の高いことからこの場所に設置された直径64メートルのパラボラアンテナは、佐久市にいてもなかなか訪れることが少ない施設です。参加した子ども達は、この大きさを体感し、施設の役割を学びました。

見学時、ちょうどパラボラアンテナは「はやぶさII」を追跡し電波を捉

えているところでした。パラボラアンテナは、霧や雨の影響は受けませんが、風と雷の影響は受けるそうです。台風が日本列島に近づいているときでもあり、職員の方は気象情報の画面に注意を向けていました。



臼田のこの施設は設置から40年近くが経過したため、新たに大河原林道沿いにパラボラアンテナ（美笹地上局）を設置し、連携運用を行っているそうです。1か月の電気料は2施設合わせて約1千万円。子どもたちは色々な事に驚きながらお話を聞き、質問をしていました。

#### 【体験】うすだスタードーム

2つ目の見学場所の佐久市天体観測施設「うすだスタードーム」へ向かう途中、急に雨が強くなりました。ドームに到着し施設の中で職員から望遠鏡の仕組みと天体観測の話をしている時、雨が一時的に上がり、ドームを開けて、レンズの直径60センチの大型反射望遠鏡に触れることができました。残念ながら雲に遮られて星は見えませんでした。良い体験になりました。

晴れていれば、空の星は夜だけでなく昼間でも見るができるそうで

す。子どもたちは、それぞれの施設の専門家の話を聞き、宇宙を身近に感じることができたかなと思います。

見学の後、うすだスタードームの外の芝生に大きなビニールシートを広げ、桜の木の下で昼食にしました。みんなにおにぎりやジュースが配られ、子どもたちも大喜びでした。

今年ようやく再開できた野外学習は、遠く市外へは出かずに、意外と今まで訪れることのなかった佐久市内の施設を見学しました。参加した子どもたちは喜んでくれたかな。